

# 東京のまちづくり

**特集1** 文化財庭園の復元整備事業を推進しています  
～小石川後樂園「唐門」が完成しました～

**特集2** 木造住宅密集地域を改善する、命を守るまち  
～特定整備路線の整備推進～

**防災特集** 土砂災害から命を守ろう!  
～早めの避難行動をお願いします!～



小石川後樂園「唐門」

特定整備路線 補助第136号線(足立区梅田)



文化財庭園の復元整備事業を推進しています

## ～小石川後樂園「唐門」が完成しました～

建設局では、平成16年度から浜離宮恩賜庭園をはじめとする文化財庭園において、震災や戦災で失われた建造物等の復元整備事業に取り組んでいます。このたび、平成31年3月より進めていた小石川後樂園(特別史跡・特別名勝)「唐門」の復元工事が完了しました。

### 小石川後樂園と唐門について

小石川後樂園は、江戸時代初期に水戸徳川家初代藩主頼房(よりふさ)によって江戸の屋敷(後に上屋敷)に作庭され、2代藩主の光圀の代に完成しました。本園は池泉を中心とする回遊式庭園で、明の儒者である朱舜水(しゅじゅんすい)の意見を取り入れ、随所に中国の名所を模した景観を配し、中国趣味豊かなものになっています。

唐門は、屋敷の書院から内庭を通り、後樂園に入る正式な入口であり、両脇には袖塀と脇塀が設けられていました。昭和20(1945)年の空襲により焼失し、唐門基壇と石段、石積みが残されていました。

今回、小石川後樂園の本来の鑑賞動線と庭園景観の再現をはかるため、復元を行いました。



焼失前の唐門(昭和13年撮影)  
みどりの図書館東京グリーンアーカイブス蔵

### 装飾について

**【彫刻】** 彫刻は、古写真や絵図などから復元しました。

正面妻壁(つまかべ)は、古写真からわずかに確認できる細い首の形から鶴と想定し、組み合わせる植物文様として牡丹・大和松を再現しました(今は扁額に隠れています)。また欄間は、古写真で尾羽の長い鳥と短い鳥が確認できることから、雌雄で尾の長さが異なる三光鳥を再現しました。

背面側は絵図に鳥の羽や華やかな朱や緑の色が確認されることから、しばしば彫刻のモチーフとなっている錦鶏と想定し再現しました。

**【扁額】** 扁額は、大正時代の文献に残されていた写真をもとに復元しました。史資料にある「むしばめる板にあかがねを用いて」という記述から、地板は風化した趣の彫刻をほどこし、文字は銅板をタガネで加工して切り出し、取り付けています。



正面扁額と彫刻



【唐門(唐門・袖塀)概要】

木造・瓦葺き

唐門：面積:5.49㎡、高さ4.24m

袖塀：面積:8.57㎡、高さ2.52m、延長:11.77m

### 小石川後樂園の案内

【交通】

◆西門：JR水道橋駅(西口)・飯田橋駅(東口)下車 徒歩8分、都営地下鉄大江戸線 飯田橋駅(C3出口)下車 徒歩3分、東京メトロ東西線・南北線・有楽町線 飯田橋駅(A1出口)下車 徒歩8分、東京メトロ丸ノ内線・南北線 後樂園駅(1番出口)下車 徒歩8分

◆東門：土・日・祝日に開門

JR水道橋駅(西口)下車 徒歩5分、都営地下鉄三田線、水道橋駅(A2出口)下車 徒歩8分

【開園時間】 9時～17時(最終入園は16時30分)

【入園料】 一般 300円 65歳以上 150円  
※小学生以下及び都内在住・在学の中学生は無料

ご来園の際は、小石川後樂園HP  
(<https://www.tokyo-park.or.jp/park/format/index030.html>)  
にて最新情報をご確認ください。



問い合わせ先

▶復元整備事業に関して  
東部公園緑地事務所 工事課 03-3821-7238  
▶小石川後樂園の利用に関して  
小石川後樂園サービスセンター 03-3811-3015



オシドリのパア

### 繁殖期を迎えるオシドリ

井の頭自然文化園 水生生物館飼育展示係 村上咲葵

鮮やかな日本の水鳥として知られるオシドリですが、そのような姿をしているのはオスだけです。しかもその姿は、季節によって大きく変化します。秋から春にかけて、オスは鮮やかな姿になってメスにアピールします。頭の後ろに長く伸びた冠羽や、腰の上に立ち上がった羽(銀杏羽)が特徴的です。しかし、繁殖期が終わって夏になると羽が生え変わり、メスと同じような灰色の姿をした非繁殖羽になります。

「オシドリ夫婦」という言葉をご存知でしょうか。意味としては仲睦まじい夫婦の事を指します。これは繁殖期にオシドリのオスとメスが仲良く寄り添う様子から生まれた言葉だといわれています。しかし、その言葉とは裏腹に、オシドリをはじめとするカモの仲間は、毎年ペアの相手を変えることが多いのです。少し残念に思えるかもしれませんが、これは毎年多くの子孫を残すカモたちが遺伝的多様性を確保するための戦略なのです。

現在、井の頭自然文化園では30羽を超えるオシドリの飼育展示を行っており、繁殖にも取り組んでいます。来春、ヒナが誕生した際には当園のウェブサイトでお知らせしますので、楽しみにお待ちいただければと思います。

### 動物園の“かお” 上野動物園 オカピ



2020年11月に横浜市金沢動物園から上野動物園にやって来たオカピの「トト」(オス)です。